

わたしたちが運ぶのは未来です

 運輸省



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局

清水港工事事務所

御前崎港事務所

下田港事務所

駿河湾地域における

広域中枢拠点整備計画調査

第一回運輸省委員会開かれる



駿河湾西部（御前崎上空から）

第五港湾建設局は西駿河湾地域（静岡市を中心とした5市10町）における総合的な整備計画の策定を目的とする調査委員会を発足させ、2月27日静岡市内で第一回委員会を開催した。

委員会は東海大学海洋学部長酒匂敏次教授を委員長に、駿河湾に関係する学識経験者、経済界、行政関係者など20名で構成されている。

調査は国土庁所管の国土総合開発事業調整費により平成6～7年度にかけて国土庁、運輸省、建設省の3省庁共同で調査が行われるもので、運輸省は港湾分野を中心に駿河湾臨海部の整備計画の策定を担当する。

調査の目的は、第四次全国総合開発計画（四全総）で目標とする多極分散型国土の形成にむけて、西駿河湾地域を高度な機能を備えた広域的な中枢拠点として整備する為の課題や整備計画を検討するものである。

これは、西駿河湾地域が第二東名自動車道の整備計画も含めて東西の交通、通信幹線の整備が進んでいること、また、この太平洋国土軸と中部横断自動車道の計画に代表されるように、太平洋と日本海を結ぶいわゆる地域連携軸との結節点としての役割が期待



されていること。さらに、清水港、静岡空港などの陸海空の基幹的な交通施設の機能強化や整備等が進展しつつあることなどの当該地域のポテンシャルの高さが評価されたためである。しかし、整備計画は国土政策上の要請と地域の要請が充分調和のとれたものとなっていないなければならない。

このため、本調査では、

1、清水港および御前崎港を中心としたグローバルな物流拠点の形成に向けた基本的方向

2、西駿河湾地域の港湾を中心とした海洋性レクリエーション拠点や伊豆地域との海上アクセスルート形成に向けた基本的方向。

3、新たに予定される静岡空港を中心とした人流ネットワークの形成に向けた基本的方向。

など、広域中枢拠点の整備のための臨海部の整備方向について地域の要請を踏まえた調査が行われることとなっている。

静岡県の港シリーズ(13)
御前崎港

御前崎町

御前崎町は、静岡県の最南端に位置し、南は遠州灘、北東に駿河湾を分ける岬の町です。



御前崎灯台

御前崎という地名の由来は、大化の改新以後、この岬に『白羽官牧』という馬の官牧場が置かれ、この牧場が起源となつて、『厩崎』又は『御厩崎』(馬を飼う小屋の意味)が転じて付けられたものではないかといわれています。

明治8年、それまで地頭方村の枝郷であったが、独立して御前崎村となる。その後昭和30年3月に、御前崎村と白羽村が合併し、御前崎町が誕生しました。

気候は黒潮の影響をうけて温暖で、日照時間は、日本有数の長さを誇ります。

産業は、このような温暖な気候を利用したメロン、スイカ、茶などの農業が盛んであり、特にカスミ草の栽培は全国的に有名です。

漁業も、遠洋、近海、沿岸漁業と多彩で、新鮮な近海カツオ、シラス、イセエビなどが水揚げされています。

また観光地としても、風光明媚な海岸線、高さ30〜40メートルの海蝕台地、白亜の灯台など風景は美しく、一帯は御前崎、遠州灘県立自然公園となっており、毎年多くの観光客が訪れています。また最近では、ボードセイリング、サーフィンのメッカとして、若者の注目を集めています。

さらに、御前崎港の整備促進、東名高速道路など広域幹線道路とのアクセス道路の整備、工場の立地等、静岡県中西部の物流拠点の町としても発展しようとしています。



治 革

御前崎港は駿河湾の湾口部に位置し、季節風に対して静穏な水面を有するため、古く

平成7年度港湾整備事業

☆下田港で双胴型ケーソン製作に着手

第8次港湾整備五箇年計画の最終年度にあたる平成7年度予算が3月22日に成立した。このうち、清水港工事事務所が管轄する3港(清水港、御前崎港、下田港)の直轄港湾改修費に43億円が計上された。

平成7年度予算では、御前崎港の改訂計画に基づく岸壁(14m)の本工事着工、防波堤(西)の整備が盛り込まれている。また、下田港ではハイブリッド構造による消波ブロック内蔵双胴型ケーソンの製作を行うこととなった。管轄港湾整備事業内容の概要は別表のとおりである。



双胴型ケーソン

港湾整備事業

1. 直轄港湾改修費

(単位：百万円)

港名	整備目的	地区	施設名	事業費	事業内容
清水港	港内の静穏度、船舶の安全航行のための整備	外港	防波堤(改良)	50	既設防波堤前面に消波工を整備
		三保	〃	650	既設防波堤前面に消波工を整備
	多目的外貿ターミナルの整備	折戸	岸壁(-12m)	25	調査(港湾計画改訂後実施)
	物流施設の再整備	富士見	岸壁(-9m)(改良)	135	上部工腐食箇所を補修
	計			860	
御前崎港	港内の静穏度、船舶の安全航行のための整備	女岩	防波堤(東)	1,375	基礎、本体及び消波工等防波堤築造整備
			防波堤(西)	60	基礎工を整備
	多目的外貿ターミナルの整備		岸壁(-14m)	185	本工事着工(埋立承認後実施)
	計			1,620	
下田港	天候の急変、暴風雨などの異常気象時に内港船舶などが安全に避難するため及び津波対策整備	下田	防波堤	1,831	基礎、本体及び消波工等防波堤築造整備
			計		1,831
	合計			4,311	

2. 作業船整備費

(単位：万円)

項目	船種	事業費	備考
修理	監督測量船	1,189	まさき(清水港)、ふじ(御前崎港)、しもた(下田港)の3隻修理
	合計	1,189	

から付近を航行する船舶の避難場所として利用されてきた。昭和40年代、県内の外材需要量が急増したため、木材港として整備が進められてきた。

この間、昭和46年国際貿易港に指定され、さらに昭和50年4月には、重要港湾の指定を受けました。

このような情勢の中、木材取扱港としてのみならず、県中西部における産業、物流拠点として、貨物船舶の大型化に対応できるよう整備が進められています。

最近では、初のRORO船による定期航路の開設（平成3年11月）、港湾環境整備事業による「マリンパーク御前崎」の建設など、多目的利用をめざしたのも推進しています。

現有施設は、-12m岸壁2バース、-7.5m岸壁2バース、-5.5m岸壁11バース、-7m岸壁1バース、-5mの専用岸壁2バース、-2m以下の物揚場等が延長約600mとなっています。

取扱貨物量は平成五年において、115万2千トンであり、主要取扱品目は、原木・砂利・砂・石材・輸送機械等などがあります。

また昨年の港湾計画改訂により、コンテナ等を扱う県下の水深14mの大型岸壁が4

バース、海洋性レクリエーションの拠点となる70隻収容のマリーナなどが新たに計画されました。

今後御前崎港は、テクノスパークライナー（TSL）の誘致など、流通、観光等の拠点として、大きな期待が寄せられています。

▼だつくら祭り

御前崎町にとって海は切っても切り離せない存在であり、古くから漁業が盛んで、特にカツオ釣り漁は江戸時代には40隻ものカツオ船があつたといわれています。



そんな町を代表する祭りに、毎年8月に行われる「だつくら祭り」があります。

この祭りは、昔の進水式を再現するもので、大漁旗を掲げて進行する勇壮な漁師達の祭典です。

(W・F窓口)

●新2号上屋完成●



清水港日の出地区の再開発が進むなか、静岡県清水港管理局は日の出埠頭にある6棟の上屋の建替えを行っています。

新2号上屋は3月に完成しました。平成5年から2か年にわたり約18億円をかけて建築工事が行われ、九千八百平方メートルの床面積を誇り4月1日から供用が始まりました。

上屋の配色は「みなと色彩計画」の日の出地区のイメージカラーに基づき、屋根はエメラルドグリーン系、外壁はベイジユ系をベースカラーにグレイとグリーンのアクセントが施されています。

駒越北宿舎B棟完成

清水市内9カ所に散在していた清水港工事事務所の宿舎

は、平成元年度から駒越北町に集約化が進められてきました。平成3年にA棟が、本年3月にB棟が完成しました。完成したB棟は鉄筋5階建てで、1階部分は独身寮として使用し2階以上が世帯宿舎（12戸）となっています。



完成した駒越北宿舎B棟

関わりを考える日として「海の日」が祝日となりました。運輸省ではこれまでも毎年7月20日には「海の記念日」として式典を開催し、港湾功労者などの表彰を行ってきました。

第27回 静岡青年の船乗談話記 佐藤 友紀

前回は香港青年の家にホームビジットし交流を深めたところで終わりました。

彼等と話をして一番心に残ったのは、彼等の国や民族に対する考えや想いで、自分は中国人だけど香港で生まれたから国籍は英国、でも中国に返還されれば本当の中国人に戻れるんだ。という話を聞いたときはすごくショックで、考えさせられるものがありました。ただ、彼らの多くは中国返還については思ったより楽観的に考えているように感じられました。またお互い若者という点で、やはり(?)芸能関係の話題が一番盛り上がり、日本のマンガやアニメでは、ドラえもん、クレヨンしんちゃん、スラムダンク、ドラゴンボールに人気がありました。

国民の祝日「海の日」定まる

7月20日を「海の日」とする祝日法案が2月28日参議院本会議で可決、成立しました。平成8年から施行となります。日本は四面を海に囲まれ、豊かな資源、輸送や交通面での利用、憩いやレジャーなど多くの面で海からの恩恵を受けています。この恩恵に感謝し、海に親しみ、私たちがとの



香港の夜景

日本の音楽もだいたい知っていて、中島みゆき、工藤静香、チャゲ&飛鳥は香港でも有名でした。英語は一応勉強しましたが発音が悪かったせいか通じないときがあつて、辞書を指さしたりして苦労しました。自分が質問しても、相手の答えが半分くらいしか理解できなかった時や、質問しても相手の答が理解できずもないのであきらめたこともあり残念でした。

夜は市内視察ということので、グルーヴの仲間と街でショッピング、観光を楽しみました。デパートや大きい店では、だいたい日本円と簡単な日本語が使えたので便利でした。そして夜になり、タイ、浙江省組も戻り、いざ出航。その時に、交流した香港の青年達が見送りに来てくれて、お互いが見えなくなるまでずっと手をふって、別れが辛かったです。

以上で体験談は終わりますが、私にとって船は静岡、そして香港と多くの仲間巡りに会えた素晴らしいものでした。船での11日間はもう過去のことですが、船で感じた事、そして交流できた仲間をこれからも大切にしていきたいと思います。

工場だより
—— 御前崎工場 ——

TSL御前崎港誘致へ TSL関連講演会
御前崎で開催される

東遠地域の掛川市、小笠郡、御前崎、相良町の1市7町の商工会議所、商工会など経済人で組織する「東遠地域経済研究会」（会長藤田清作掛川商工会議所会頭）は、2月20日、御前崎町文化会館において「テクノスーパライナー（TSL）」関連講演会を開催した。

講演会の講師は、TSLターミナルのモデルプラン作成に参加し、誘致希望自治体へのPRリーダーなどを努めている山九（株）の栗岩常明氏。

栗岩氏は、ビデオ、パンフなどにより、TSLの概要、ターミナル構想などについて述べた上、「御前崎港は、位置的、地形的にTSLが寄港するのに最も適した港の一つ



T S L

である」と強調した。

講演会には、研究会員、一般市民、行政関係者ら約400名が出席し、最後に「実現に向けて地域一丸となって誘致運動を展開していく」などの決議を行った。

—— 下田工場 ——

下田港生物捕獲調査
平成6年度報告

平成6年度に直営にて、下田港内及び港外を対象とした「生物捕獲調査」を実施しました。今回はその調査成果の一部を報告します。

下田港内

春から夏にかけて、小サバ、小アジ（地方名ジンタ）が群遊し捕獲多数、イシダイも捕獲する。捕獲調査後はフライにて美味しく調査関係者の腹の中へ。晩秋から冬にかけて、スマイカ（コウイカ）の出現があり、半夜調査にて、1kg



スズキを手に同僚の堀池調査員

クラスを捕獲す。食味は極めて美味。この他ヒラメ等多種。

下田港外

梅雨時ころより夜間調査にてイサキ・ムツを2時間程の調査で30〜40尾捕獲。さしみ・塩焼きにて処理。極めて美味、なおこの頃より一部調査員が「ペラ症候群」に感染し今だ完治せず。

8月から10月上旬まで下田港は海水温が表層から海底面まで34℃とぬるま湯状態となり生物はほとんど捕獲できない日々が続いた。神子元島周辺にてイナダの成長具合を舷側にて確認した。

11月に本調査と同様の趣旨で開催された「伊豆半島磯釣り大会」において見事「参加賞」を受賞している。

また、調査員の一人は、一年間通して行われた別の大会で、スズキを対象とした部門で6位入賞をはたしている。

発行所
清水港工事事務所
〒424 静岡県清水市日の出町七一二
TEL (〇五四三) 五二一四一四六代

管内の動き	2月	8日 第2回静岡県TSL導入調査WG [静岡]
	9日 東海道歴史のふるさとづくりセミナー [静岡]	
	10日 下田港防波堤景観設計関連調査委員会	
	20日 第9回清水港みなと色彩計画推進協議会	
	27日 駿河湾地域における広域中枢拠点整備計画調査委員会 [静岡]	
	3月	8日 第2回田子の浦港景観計画委員会 [富士]
	23日 清水市防災会議	
	30日 御前崎港設計会議「名古屋」	
	4月	12日 清水港港湾機関長会議
	5月	8日 予算要求説明会「名古屋」
	17日 さわやか行政サービスタウンフォーラム [静岡]	

このように下田港及びその周辺は、管内でも屈指の生物豊庫であるということを確認した調査であった。

下田港 小 椋